

機械器具39 医療用鉗子
一般医療機器 鉗子 10861001

ENDO-PSI(Ⅱ)スリム

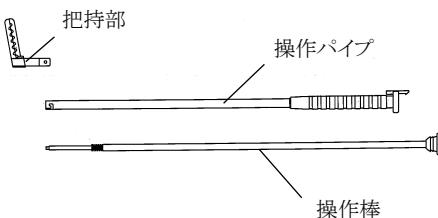
【禁忌・禁止】

- ・圧縮して1.0mm未満あるいは2.4mm以上になるような組織には使用しないこと。[巾着縫合不全の原因となるため]

【形状・構造及び原理等】



分解図



適用縫合糸 2-0 モノフィラメント ポリプロピレン縫合糸(両端 直針)
巾着縫合用糸付縫合針 NC-WT50F02M-90

<原理>

本品は、腹腔鏡下手術の際、トロカーレーから体腔内に挿入し、臓器を把持し、巾着縫合を行う。

【使用目的又は効果】

臓器を把持するために用いる手術器具。本品は再使用可能である。

【使用方法等】

<使用前>

- ・本品は未滅菌品のため、使用に際しては【保守・点検に係る事項】を参考して、必ず洗浄を行い、所定の方法で滅菌する。
- ・手術前に【保守・点検に係る事項】を参考して、点検を行う。

<組立方法>

1. 効率突起下の10~12mmトロカーレーを抜去する。
2. 本品が3つに分解されたままの状態で、操作パイプをトロカーレーに通す。
3. 操作棒を操作パイプのラチエット側から挿入する。まだラチエットはかけない。



4. 把持部にある突起を操作パイプ先端にあるジョイントの溝に押し込み、溝に沿って回し、止め溝に固定する。



5. 操作棒の円形ラチエットを時計方向に12回ほど回して、操作棒先端と把持部の摺動歯とを接続させる。
6. 操作棒を前後に動かし、把持部が開閉すること、それに伴うラチエット機能を確認する。

<使用方法>

1. <組立方法>で組み立てたものの把持部を、トロカーレーから腹腔内へ挿入する。
2. トロカーレーを腹壁に固定する。
3. 巾着縫合を行う部位に垂直にかけ、クランプする。

4. 専用糸付縫合針を患者右側から挿入し、上下同方向から刺入する。
5. 2本とも対側より針を抜く。
6. 両端8cm程度糸を残して針を回収する。
7. 外科結紮の仮結紮をおき、そこから数cm離れた位置にMLクリップを打ち。糸を収束する。
8. 切除側に着脱型腸鉗子(クリップ)をかけ、食道を一部残して切離する。
9. 本品を抜去する。
10. アンビルを挿入する。
11. 仮結紮とクリップの間を対側方向に引っ張り、巾着を締める。
12. 結紮糸を牽引し、食道後壁を完全に切離する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・術者は、手術前に用意された本品に汚れ、腐食、損傷、曲がり、傷等の異常がないことを確認すること。
- ・本品と併用するその他の手術器具は、使用前にそれらの説明書を熟読すること。

【使用上の注意】

<不具合・有害事象>**

本品を適切に使用しない場合、以下の不具合・有害事象が発生する可能性がある。不具合・有害事象が観察された場合は、速やかに適切な処置、措置を講ずること。

- (1) その他の不具合
 - ・本品の不適切な使用による破損、変形、損傷、腐食
 - ・繰り返し使用による本品の疲労破損
- (2) 重大な有害事象
 - ・本品の不適切な使用又は破損による組織の損傷

【保管方法及び有効期間等】**

- ・滅菌済の状態で保管する際には、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに、滅菌有効期限を管理すること。

【保守・点検に係る事項】*

- ・使用前に動作及び外観を点検し、異常が認められるときは使用しないこと。
- ・故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行い、修理は専門家に任せること。
- ・使用後は、速やかに洗浄し、高圧蒸気滅菌またはエチレンオキサイドガス滅菌すること。
- ・洗浄にあたっては院内の規定に従い、また、滅菌にあたっては滅菌器の取扱説明書を必ず参照すること。
- ・修理点検のために本品を返送する場合は、必ず洗浄・滅菌してから発送すること。

<洗浄方法>

- ・本品を3つに分解する。
- ・洗浄液は、医療用中性洗剤を使用する。アルカリ性、酸性の洗浄剤を使用する場合には、残留物が残らないように純水にて十分にすすぎを行うこと。
- ・滅菌する前、把持部をはじめとした全ての接合部及び可動部に、動きをスムーズにするため、水溶性潤滑防錆剤を必ず注入・塗布する。

自動洗浄器

- ・適切なラックを使用し、他の器具と重なり合わないように入れる。
- ・器具の接続部は解放し、分解してラックに入れる。
- ・内視鏡機器のプログラムが設定されている自動洗浄器を使用する。(洗浄方法については、自動洗浄器の製造販売元の取扱説明書を必ず参考すること。)

- ・洗浄剤や水質によっても製品にダメージを与える場合があり、器具に変質等が生じた場合、直ちに自動洗浄器の使用を中止し、洗浄剤、水質の確認を行うこと。

用手洗浄

1. 洗浄溶液に浸漬する。(時間、濃度、温度については、洗浄剤の製造販売元の指示に従うこと。)
2. 柔らかいスポンジでよく洗い、血液や微細組織片など、こびりついた成分を全て取り除く。
3. 管腔内は適切な洗浄ブラシ・シンジ等を用いて洗浄する。
4. 全ての可動部が完全に清掃されていることを確認する。
5. 洗浄剤の残留がないよう蒸留水・脱イオン水で十分にすすぐ。
6. すぐに乾燥させる。

超音波洗浄

- ・必要に応じて行う。(ただし、5分以内)。

<滅菌方法>

- ・分解したままで、高圧蒸気滅菌(オートクレーブ滅菌)またはエチレンオキサイドガス滅菌する。(時間、温度及び圧力の設定は、滅菌器の製造販売元の取扱説明書を必ず参考すること。)

オートクレーブ滅菌 ブレバキューム式 134℃ 5分 推奨

<点検項目>

組立完了後及び手術前に必ず作動チェックをして、器具の安全性を確認すること。

- ・汚れ、曲がり、傷、ひび、錆、がたつき等がないか
- ・把持部のかみ合わせが悪い、がたつき、不具合等がないか

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者： 株式会社平田精機
〒273-0128 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山 2-10-17
TEL 047-386-2101

販売業者： ホープ電子株式会社